

競技注意事項及び大会規定

- 本大会は2024年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。
- 招集について
 - 招集は全て招集所(100mスタート付近)で行う。
 - 招集開始及び完了時刻は、別記競技日程を参照のこと。
 - 招集の手順
 - 競技者は、招集完了時刻(トラック競技は競技開始時刻20分前、フィールド競技は40分前)までに招集所でスタートリストに自分で○をつける。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。その際、1500m、3000mの出場者は、腰ナンバー標識を受け取り、右側腰の後ろへ取り付ける。腰ナンバー標識はレース終了後にフィニッシュ地点で回収する。
 - 最終確認は、トラック競技は競技開始時刻の10分前にスタート地点で、フィールド競技は競技開始時刻の10分前に現地で点呼を行う。
 - フィールド競技は、競技開始時刻40分前より、現地に入り、練習可能とする。
 - 代理による招集の確認は原則認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、第1種目の招集開始までに所定の用紙に記入し、招集所(競技者係)に提出し、指示に従う。用紙はホームページからダウンロードした「二種目同時出場届用紙」を使用すること。(招集所にも用意する)
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。
 - やむをえず出場種目を欠場する場合には、招集開始時刻までに欠場届を提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意する)
- 競技場への入退場について
 - 競技者以外はトラック、フィールドに立ち入らないこと。なお、本部前の通行は禁止する。
 - 競技終了後は係員の指示に従って、競技場外へ退場すること。
- 競技について
 - 走路順、試技順はプログラム記載順とする。
 - 1500m、3000mはタイムにより順位を決定する。
 - 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
 - 走高跳を除くフィールド競技(走幅跳・三段跳・砲丸投)は、3回の試技の後、記録の上位8名がさらに3回の試技を行い、順位を決定する。
 - 走幅跳は、1組・2組の2つに分けて行い、1組をトラック側、2組を掲揚塔側とする。
 - アスリートビブスは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。腰ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。
 - 競技者は、勝手に競技場所を離れること(競技規則 TR17.6,TR25.19)、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバーや携帯電話、もしくは、それらに類似の機器を競技区域内で所持または使用することは禁じられている。(競技規則 TR6.3.2)
 - スパイクのピンは、オールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳については、12mm以下とする。(競技規則 TR5.2)
 - 競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とする。(競技規則 TR5.2)

種目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技(ハードル含む)	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内

※フィールド競技用シューズは、競技規則 TR5.2 の適用除外とする。

※競技終了後に、シューズの確認をする可能性がある。

- (10) ユニフォームに所属団体名を入れる場合、出場する所属団体名と同等のものとする。サイズは国内規程用の広告規程に準ずる。
- (11) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする（競技規則 TR16.8）。スタート時の不適切行為に関しては、トラック審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。
- (12) 本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (13) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 TR8 に従って定められた時間内に、各団体の監督が口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、総務員に文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。
- (14) 3000mは制限時間を設けるため、下記の時間で、次の周回に入ることができない。
（男子） 11分30秒 （女子） 12分00秒

5 走高跳のバーの上げ方について

走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。

（天候など特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。）

優勝決定のためのバーの上げ下げは走高跳2cmとする。

走高跳(男子) 1m45-1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m73-1m76 以後3cm

（女子） 1m25-1m30-1m35-1m40-1m45-1m48-1m51-1m54 以後3cm

6 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んではならない。

7 表彰について

- (1) 上位3位までの競技者には賞状を授与する。3位までに入賞した競技者は、賞状を大会本部まで取りに来ること。

8 その他

- (1) 競技場をよごさないようにすること。特に空き缶類、弁当がらの片づけは各団体で責任を持って行うこと。
- (2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。
- (3) 本部前は通行禁止とする。ただし、直線種目（1000m, 1000mH, 1100mH）のレース後は、本部前を通行してスタート地点に戻ることができる。
- (4) 応援について
 - ①競技の妨げになるような応援は禁止する。
 - ②メインスタンドでの集団応援（連呼）は禁止する。
 - ③フィールド競技付近は、メガホンなどを使用した応援や集団応援は禁止する。
- (5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。
- (6) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。
 - ①保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
 - ②次の場合の撮影を禁止する。
 - ・禁止された区域での撮影。（各競技正面および後方からの撮影）
 - ・競技者がスターティングブロックの足合わせをしているとき。 など
- (7) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (8) 当日の記録は、アナウンス・競技場正面入口横の壁面で確認する。
- (9) 本大会の男女3000mは、都道府県対抗駅伝大会代表を選考するレースの一つとする。